

事業区分
金銭給付

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	芸術・芸能支援育成					所管	文化産業観光部 文化振興課	
	行政計画	事業NO.	56	計画事業名	芸術・芸能支援育成	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出					[事業開始] 平成17年度	
		[小 柱] (2) 新たな文化の創造と発信					[終了予定] - 年度	
		[施策] ① 新たな文化の創造						
根拠法令等	要綱	[法令等名]	アートアドバイザー会議設置要綱、台東区芸術文化支援制度実施要綱					
事業対象	若手及び先駆的な芸術文化活動を行う芸術家や芸術団体、区民							
事業目的	文化政策への芸術家等の参画及び若手や先駆的な芸術文化活動を行う芸術家等の支援・育成を行い、台東区の文化力の更なる向上を図る。							
事業内容	分野の異なる芸術家や専門家等で構成される「台東区アートアドバイザー会議」を年4～5回開催し、台東区が行う芸術支援の方向性などを検討していく。また、台東区の文化力の更なる向上を図るため、毎年7月から3月末までに区内で実施される先駆的な芸術文化活動に対する支援を行う「台東区芸術文化支援制度」を実施し、芸術家等の支援及び育成を行う。							
委託の有無	一部委託	委託内容	台東区芸術文化支援制度PR用チラシ・ポスターデザイン					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	支援対象企画件数	件	-	6	5	4	
		成果指標	(芸術文化関連施設情報WEBサイト閲覧数)	件	5,000	-	-	-
	決算額 (単位：千円)				3,808	4,115	4,127	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			8,948	9,777	6,416	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			387	460	507	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			3,422	3,656	3,621	
		総経費			12,757	13,893	10,544	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)			12,757	13,893	10,544			
前回評価から改善した事項	芸術文化支援制度への助言・支援だけでなく、新たな芸術文化活動への支援として28年度の運用開始を予定している芸術文化関連施設情報の集約方法・内容等についてご意見をいただく時間を設け、施設調査に活かした。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	先駆的な芸術文化活動への支援は、区の文化力の更なる向上のため重要であり、芸術文化支援制度は中心となる事業である。10年目記念事業・アーカイブ化の実施検討に加え、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムへの検討を見据え、芸術・芸能支援の育成を更に推進していく必要がある。					
	効率性	3	芸術文化支援制度は、台東区アートアドバイザーが専門的見地に基づき、企画内容・収支計画・芸術家等の実績等を精査することで効率的な実施に努めている。					
	手段の適切性	3	芸術文化支援制度は、台東区アートアドバイザーの助言・支援のもとに実施されており、芸術家への育成・支援について十分な体制を整えている。他の所管事業に類似事業はなく、手段は適切である。					
目的達成度	3	平成27年度は現代美術・パフォーマンス・茶道・クレイアニメなど幅広いジャンルの企画を支援した。区民に対して、新たな芸術文化に触れる機会の提供を行うことで、区の文化振興に寄与していると考えている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
区の文化力向上を図るべく、新たな芸術文化活動への支援として実施してきた芸術文化支援制度が、29年度に10年目という節目を迎えることから、記念事業の実施やアーカイブ化を検討し、本事業の更なる定着を目指す。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムを見据え、芸術・芸能支援の育成を更に推進していく必要がある。						維持		